

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(次の文章は段落の順序を入れ替えてある)

A 細谷家御当主大作氏は俳号を鳩舎とよばれるハイ人である。いまもお邸と呼ぶにふさわしい構えの旧家で、まず門脇の大きな蔵造りの白壁が人目をひく。

母屋二間を開放していったいに雛段を組み、享保雛を含む三対の内裏雛の下に、さまざまな雛を自由に飾っている。左右大臣の間に酒肴を捧げた三人官女を置き、その下に五人囃子、さらに下段にお庭清めの仕丁、そしてもう一段に数数の調度を飾った五段飾りの雛段も一組あったが、他の、一見寄せ集めのようにみえる雛段をみると、その多様さにかえっているいろいろな空想が湧く。

B 寿蔵氏がここにこられたのはいつ頃だろう。歌人にしてなお人形作家として名高い氏の歌の中でも、細谷家の雛の前で目にしたこの歌は、殊さら①その思いが身にしみるようだった。鹿児島寿蔵氏の人形からその名が消えることはありえないが、なるほど多くの古雛たちは、その作者を伝えてはいない。庶民の家家の雛段に並んで、あまねくわたたちの愛や思いを受け入れてしまった雛たちは、すでに作者のこめた思いや愛を身に負わないでもよくいくらい、持ち主の女のものになりきっている。だから雛に作名がないこともさびしくはない。私は、私がかもつていた雛の箱の蓋に、小さく記されていた私自らの名のことを思った。そして雛まつりの雛には、親の愛を得ていた日の女の子の名こそふさわしいかもしれないと思う。

C 細谷家には、おもしろいからくり人形が幾つもある。三味線をひく美女や太鼓をたたく唐人など、これらがいきいきと賞でられていた日と思うと、のような気がしてくる。御主人の大作氏は気さくに小さな芥子人形を雛段からおろしてみせて下さった。象牙製である。「あつ、桃太郎」と思ってみつめると、傍らに犬・猿・雉子・鬼まで揃って、それぞれに小さな存在を主張しているようだ。

D はじめて生まれた女の子のために、初節句を祝って一對の雛を求めたのは、孫がいとしくてならないような顔をした祖父や祖母であったかもしれない。それから、子供の成長にしたがって、そして家の発展のままに、楽しい五人囃子や、珍しい唐人人形や、都風俗を憧れさせる踊り姿の人形、芝居人形、それらの人形の包みを解きながら、父や祖父が得意になって語り伝えた土産話の数数。豊かな家の明るい灯と、わたたちの笑い声――、思えば雛は、女のくらしの幸福感とともにしかなかったものだ。だから、持ち主の手を離れた雛は、女の人生の不幸を背負って流浪する姿の哀れさをにじませるのだ。

E やがて雛の御膳部が運ばれる。年に一回、雛の料理を盛りつけるだけの、蒔絵の椀や皿が、それぞれ色どりがよく、おろそかならぬ調理の品物を盛られて足つき膳の上にうれしそうにかがやいている。高坏にはお菓子の色あいも美しい。手毬や、お将棋盤や、将棋の駒まで、御膳の傍にあるそれらは、いかにも遊び飽きた雛の②手すさびのようだ。

F 自らもうれしそうに芥子雛を弄んでいられる御主人に「雛の句もおありでしょう」と御披露を請うと、一句だけ教えて下さった。

雪あかりまぶしと雛の細目かな

お庭にはまだ少し雪も残っている。昔雛のやわらかな細いまなざしが、その時ふと雪をみつめてまたいたようだ。わたしはさつきお茶を傾いたお部屋に、ドライフラワーにした紅花と並んでいた鹿児島寿蔵氏ののびやかな筆跡を思い、その歌を思い出した。

ひなの作者たれともしれず忘れて小さき衣裳のおくふかきてり

寿蔵

問一 文章中の段落A～Fを正しい順序に並べかえなさい。

問二 傍線部②の意味は次のどれか記号で答えなさい。

- ア 手もちぶさた    イ 手のすきま  
ウ 手なぐさみ    エ 手間ひま

問三 空欄に入れる語句として最も適当と思われるものを次から選り記号で答えなさい。

- ア 何ともにぎやかな夏の夢  
イ 何とも感慨深い若い頃の夢  
ウ 何ともめずらしい昔日の夢  
エ 何とも楽しい春の夢

問四 傍線部①「その思い」を筆者はどう理解したのか。それを述べている部分を四十字以内で抜き出して答えなさい。

問五 波線部の句から筆者はどのようなことを感じとったか。最も適当と思うものを次から選り記号で答えなさい。

- ア 北国の女のくらしの幸福感  
イ 初節句を祝う祖父母のうれしさ  
ウ 雛に対して示された男のやさしさ  
エ 雛人形のはなやかな美しさ

問六 筆者は雛をどのようなものと考えているか。それを最も端的に示している部分を二十五字以内で抜き出して答えなさい。

二 次の傍線部のカタカナを漢字に漢字をひらがなに直しなさい。

- |            |              |              |
|------------|--------------|--------------|
| ① コウオンに報いる | ② 適切なソチ      | ③ ソウスイに推される  |
| ④ トクメイで投稿  | ⑤ 約束をリコウする   | ⑥ 交渉がナンジュウする |
| ⑦ シユウを決する  | ⑧ 物語がカキヨウに入る | ⑨ キンキを破る     |
| ⑩ マンセイの病氣  | ⑪ 参加をジシユクする  | ⑫ コウジンに存じます  |
| ⑬ 悼辞を読む    | ⑭ 鋳物をつくる     | ⑮ 煩忙を極める     |
| ⑯ 怠惰な生活をする | ⑰ 褐炭を生産する    |              |